



School

教育情報 桂川っ子

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149

題字：桂川中学校美術部
宮武 海幸 さん

■実りある2学期に

桂川幼稚園園長 城石俊弘

2学期がスタートしてから1か月が過ぎました。1学期は、新型コロナウイルス感染症のために休園が長引いて様々な影響がありました。多くの園行事は、方法を工夫したり、延期したりしながら実施することができましたし、再開後はカリキュラムを見直して、短いながらも1学期の教育活動の充実を図りました。

ちゅうりっぷ(3歳児)の子どもたちは、少しずつ園生活に慣れ、友達の名前も覚えて、たがいに声を掛け合いながら楽しく遊ぶことができるようになりました。

たんぼぼ(4歳児)の子どもたちは、ちゅうりっぷ組の子どもたちにもおもちやを貸してあげたり、順番を譲ってあげたりと、優しいお兄さん、お姉さんぶりを見せてくれます。また、当番活動では、元気な声で自己紹介をしたり、机を拭いたり、折り紙を配ったりする活動をみんな笑顔で頑張ることができました。

ひまわり(5歳児)の子どもたちは、はじめは緊張気味だった朝と帰りの放送当番も、大きな声でスムーズに言えるようになりました。帰りの会での「今日楽しかったこと」の発表も、「誰と何をして楽しかった。」と聞く人にわかるように、自分の思

いを上手に表現することができるようになってきています。様々な子どもたちの姿に一人一人の成長を感じ、とてもうれしく思っています。この成長をさらに伸ばしていく2学期にしていかなければなりません。新型コロナウイルス感染症の対策を考慮しながら、通常の教育活動を取り戻していきたいと考えています。

運動会は中止しましたが、子どもたちが目標を持って練習を積み重ね、身体と心の成長に結びつく取組をしようと、先月から毎日練習に汗を流しています。

園の運営面では、長期休業中の預かり保育を8月に2週間試行し、延べ人数で44人の利用がありました。来年度の実施に向けて検討を重ねたいと考えています。

また、11月からは、週2回のデリバリー方式による給食を開始する予定で準備を進めているところです。今後も、教育活動と園の運営の双方から、桂川幼稚園の充実を目指します。保護者や地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

いを上手に表現することができるようになってきています。様々な子どもたちの姿に一人一人の成長を感じ、とてもうれしく思っています。この成長をさらに伸ばしていく2学期にしていかなければなりません。新型コロナウイルス感染症の対策を考慮しながら、通常の教育活動を取り戻していきたいと考えています。



【夏季保育の様子】

▲小学校のプールでビート板を使って楽しみました。

▶ゆのうら体験の杜のお昼はおいしいカレーライス。



■令和元・23年度 福岡県重点課題
研究指定・委嘱地域(校) 中間報告会

桂川町教育委員会

本来なら、例年10月号は、4月に実施される全国学力・学習状況調査の結果を分析し、お知らせするところでしたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、全国学力・学習状況調査が中止となりました。そこで、今月号は、令和元年度より桂川町として取り組んでいる福岡県重点課題研究指定・委嘱地域(校)のことについてお知らせします。

桂川町が県より与えられた課題は、「幼・保・小・中の主体的な学びをつなぐカリキュラム・マネジメント」です。この研究の目標は、幼児期から児童期、青年期への発達や学びの連続性を確保するための教育課程の編成や、幼児教育と小・中学校教育の連携を通して、円滑な接続を図る推進体制の在り方を究明することです。

この課題を解決するために桂川町では、研究主題を「ふるさとを愛し、未来を担う人材を育成するカリキュラム・マネジメント」、副主題に「ふるさと『けいせん』プロジェクトを通して」を掲げて、研究を進めています。研究の内容には、大きく2つの視点があります。

視点1は、「主体的な学びをつなぐ幼・保・小・中のカリキュラム・マネジメント」です。

そこで、桂川町では、生活科と総合的な学習の時間を中心とした「ふるさと『けいせん』プロジェクト」を通して、育成をめざす資質・能力の系統性を明らかにします。

また、幼稚園の年長クラスでアプローチカリキュラム、小1(4月～5月)でスタートカリキュラムを実施

し、小6と中1で小中接続カリキュラムを実施することにより、幼児が小学校に、小学生が中学校にそこを抱き、円滑に接続されるように工夫します。

視点2は、「中学校区における幼・保・小・中の連携推進体制整備」です。

そこで、桂川町では、共通理解と協力体制が構築できるように、4プロジェクト部会(①幼・小2、②小3・小4、③小5・中1、④中2・中3)を組織し、その運営の在り方を究明します。

また、つながりのある教育活動を創造するにあたり、円滑な接続に向けた協議が出来るように、目指す子ども像と、「3つのつなぐ」(カリキュラム・子どもの姿・活動)、それを支える「行政のつなぐ」を視点として協議します。

さらに、指導方法や評価方法等についての共有や円滑な接続に向けた協議ができる教員研修(合同研修・部会研修)の在り方を工夫します。

最後に、二年度として、11月12日(木)に、研究の進捗状況について中間報告会を開催します。まず、各学校等で授業を公開し、その後、桂川中学校で全体会を行います。

公開授業では、発達段階に応じて、

【自己表現力】郷土を誇りに思い、高い志と理想をもって、自らの夢の実現に向けて学び続ける子ども

【社会参画力】地域の人々と支え合い、協働しながら桂川町の未来を切り拓く資質と能力を身につけた子ども

の姿を目指しています。